



子どもの世界が変わった時

— 進駐軍とともにやってきた児童書と戦前・戦中・戦後 —

ある月末蔵書整理日に、書庫の中で児童図書を整理していた時のこと。ふと、薄い古ぼけた本が目にとまりました。そっと本棚から取り出してみると、英語のタイトルと美しい表紙。興味をそそられ中を開いてみると、そこには「GIFT：アメリカ文化センター」のスタンプが—。

そこから今回の企画展示は始まりました。

この「GIFT」と付いた本をきっかけに県立長野図書館の歴史を紐解いてみると、そこには戦後占領期に進駐軍が設置したCIE図書館の活動や、教科書の歴史、戦前・戦後の子どもの本など、戦後70年の今、あの頃何が起こっていたのか改めて知っておくべきたくさんのお話が見えてきました。

終戦によって子どもたちの世界にどのような「GIFT」がもたらされたのか、様々な角度から見つめなおしてみたいと思います。

2015.12.22(火) ➤ 2016.1.28(木)

2階閲覧室 平日 9:00～19:00 土日祝日 9:00～17:00

12/28-1/3・1/11・18・25 休館